

自己評価報告書

平成23年 4月 13日現在

機関番号：32683

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2008年～2011年

課題番号：20730231

研究課題名（和文） 戦後再建期のイタリアにおける産業復興政策とヨーロッパ統合

研究課題名（英文） The Industrial Reconstruction Policy and the European Integration in the Postwar Era in Italy

研究代表者 伊藤カンナ

（明治学院大学・経済学部・専任講師）

研究者番号：30334999

研究分野：西洋経済史

科研費の分科・細目：

キーワード：イタリア、戦後復興、ヨーロッパ統合、経済政策、国家持株会社

1. 研究計画の概要

第二次世界大戦後のイタリア経済を特徴づけた国家持株会社に注目し、その中でも最大規模の機関、産業復興公社IRI(イリ)の活動を実証的に検証することで、イタリア経済の本質に光を当てることを長期的な研究課題としている。本研究では、当該機関のイタリア経済における存在意義を理解するために、第二次世界大戦後の再建期に起こったIRI存廃論争の内容や、経済復興計画の立案・実行にあたりIRIが果たした役割を、政策構想・主要人物の活動・関係諸利害との関係性など諸レベルから検証する。その際には、戦後再建期のイタリアが直面した対外的な制約（戦後の国際金融秩序の構築と、ヨーロッパ統合を中心として）が、同国の政策形成に与えた影響にも注目し、それらをIRIの産業復興構想や活動の実態検証から析出することを目標とする。

2. 研究の進捗状況

憲法制定会議の史料から、戦後直後のIRIの存廃論争について、産業界、政策当局の主張を検出した。また、イタリア国立公文書においてIRIの戦後の経営関連史料を調査・収集し、同国の戦後復興において当該機関がどのような役割を果たしたかを、IRIが作成した各産業の現状調査報告書や各産業・企業の復興計画から読み解き、考察を重ねている。さらに、産業復興計画実行のためにIRIや関係機関が外国の融資機関との間で交わした交渉関係の資料をひも

と、戦後イタリアの通貨安定化・貿易自由化・通貨の交換性の回復を目指す政策がどのような構想から展開・実現したのかを検証している。この考察に当たり、IMFの史料館においても資料調査・収集し、戦後のイタリアの金融・経済政策の運営を、IMFなどのブレトン・ウッズ機関が、どのように考え、実際にどんな影響を与えたのかを、IMFのコンサルテーション・ペーパーやスタッフ・リサーチ・ペーパーから検出している。以上を通して、イタリアの経済復興やヨーロッパ統合の進捗にIRIが果たした役割を、その産業政策構想・主要人物の活動・関係諸利害との関係性など諸レベルから検証するという研究は、日本はもとよりイタリアにおいてもまだ浅い。本研究では、戦後再建期のイタリアが対外的な制約（戦後の国際金融秩序の構築と、ヨーロッパ統合を中心として）の下で、どのような政策運営を行ったかを、IRIの産業復興構想や活動の実態検証から考察し、論文作成を進めている。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

4. 今後の研究の推進方策

前年度までに収集したIRIの事業計画・報告書、イタリア銀行の金融政策資料、IMFによるイタリア・コンサルテーション資料、ヨーロッパ経済統合関連資料をさらに読み進め、第二次大戦末期から戦後再建期にかけてのIRIによる産業企業統治の実態解明と、各産業部門の復興計画の立案・実施過程を検証する。これにより、イタリア経済において国家持株制度

が存続した理由、それに期待された機能と実際の効用を明らかにする。今年度も引き続き、資料調査・収集をするとともに国内外の研究者の最新研究成果を吸収し、彼らから助言を仰ぎつつ研究を進める。研究の成果は国内外の学会・研究会で報告し、経済史研究者の批判を仰ぎ、論考をさらに精緻化して公刊したい。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計1件)

Kanna ITO, "Economic Revitalization and Birth of the State Ownership in Interwar Italy", 『経済科学』(名古屋大学) 査読無、第56巻第1号, 2008年6月.

〔学会発表〕(計7件)

1)伊藤カンナ「The State and the Economy in Italy. The State Holding Company and EU Integration」異分野融合研究会、2011年3月、名古屋大学

2)伊藤カンナ「ヨーロッパの中のイタリア」津田塾大学-EUSI 公開講座、2011年1月、津田塾大学

3)伊藤カンナ「イタリアの戦後復興と通貨安定化」日本金融学会中部部会、2010年9月、名城大学

4)伊藤カンナ「イタリアの戦後復興」名古屋大学課題設定型ワークショップ、2010年2月、名古屋大学

5)伊藤カンナ「戦間期イタリアにおける金融・産業再編と国家持株会社」社会経済史学会東北部会、2009年5月、東北大学

〔図書〕(計0件)

〔産業財産権〕

○出願状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕